

会報

全員積極参加でロータリーを楽しもう！



2012.11.13. 第1036回例会 No.23-18 2012.11.21発行

多摩東グループインターシティミーティング

日時 : 2012年11月13日(火)
場所 : ハイアットリージェンシー東京
B1 センチュリールーム

<式典>

司会 グループ幹事 田村 重己

開会点鐘 ガバナー補佐 千葉 孝良

国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー 沖田 富之
ピアノ伴奏 池田みさ子様

開会挨拶 ガバナー補佐 千葉 孝良
本日は佐久間ガバナーを始め、舟木ガバナーエレクト、小粥ガバナーノミニエ他大勢の地区役員をご来賓として、またグループ内ロータリアンの多数のご参加を戴きここにIMを開催できますことを感謝申し上げます。

歓迎挨拶 IM 実行委員長 河野 道雄

来賓・参加クラブ紹介 ガバナー補佐 千葉 孝良

ガバナー挨拶 佐久間宗源 ガバナー



東グループ内公式訪問の際には各クラブとも、あたたかくお迎え頂きまして、有難う御座いました。それぞれのクラブが切磋琢磨し地域奉仕にご努力されている様子を拝見致しました。また他には見られないグループ内の結束の強さを感じました。本日は皆様と一緒にIMを楽しもうと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

メジャードナーの表彰

門馬光直会員

東京調布ロータリー・クラブ

休憩

<記念講演>

「地球社会の持続的発展のための宇宙技術」

国連宇宙空間平和利用委員会 議長 堀川 康 様



米、ソ冷戦時代に始まった宇宙開発競争ですが51年のスプートニク、67年のガガーリン宇宙飛行士を乗せた初の有人衛星などソビエトの先行時代が続き、米国もNASAのAPOLLO

計画における人類初の月面着陸69年、スカイラブ計画73年における長期宇宙滞在、更に宇宙往還機スペースシャトルなど実現させました。今や宇宙開発は国際協力のもと、宇宙空間の平和利用の時代に入りました。

日本の宇宙航空開発は55年の糸川先生のペンシルロケットの発射実験に始まり、日本独自に開発してきたロケット技術を発展させ効率的でより信頼性の高い基幹ロケットシステムの成功の上にあります。日本初の国産ロケットによる人工衛星打ち上げは宇宙開発事業団による70年(内之浦)からです。宇宙航空研究開発機構(JAXA)は2008年4月から5ヶ年計画の第2期中期計画期間に入りました。

第2期中期計画では

- (1)衛星を利用した温暖化、気候変動など地球環境の観測、災害発生時の被災地域の監視、通信、位置情報の精度と利便性を高める測位
- (2)宇宙科学研究における世界的な研究成果の創出
- (3)宇宙探査を通じた人類の知的要求の充足と活動領域の拡大
- (4)日本初の軌道上実験施設「きぼう」の利用と物資補給による国際宇宙ステーション計画の推進
- (5)宇宙輸送系の維持、発展による必要な時に独自に宇宙にアクセスできる能力の確保
- (6)航空科学技術の研究開発を通じて社会からの要請を踏まえた課題の解決

<懇親会>

(7)宇宙航空技術基盤の強化。
(8)教育活動及び人材の交流、産業界、関係機関、大学との連携、協力、国際協力の推進。
により、安全で豊かな社会、人類の平和と幸福のために役立てるよう、宇宙、航空が持つ大きな可能性を追求し、様々な研究開発に挑んでいます。

また、宇宙空間とは地球の大気圏は含まず、東京から熱海の距離、凡そ100kmから上空をの範囲を云います。宇宙ステーションは東京から京都の距離、凡そ400km.の上空を回っております。36,000km上空の宇宙船は地球の回転と合い静止衛星となります。(中略)

宇宙開発競争が活発になるに従い、各国の打ちあげた衛星やロケットの残骸(塵)が大きな問題となりつつあります。直径1mm以上の塵は数千万個と推定され、各国は情報の公正な公開をして、安全な宇宙空間の開発に取り組むよう協定が出来ております。JAXAは2008年に成立した宇宙基本法をうけて宇宙基本計画を策定し、総合的戦略のもと、宇宙開発利用を推進しております。

- ・地球の変化をとらえ、環境問題の原因を探る。
- ・災害時の状況把握や通信技術の提供。
- ・山間地や高層ビル街をくまなくカバーする衛星測位システムの整備に向け、軌道上実験を実施する。
- ・宇宙ステーションを運用して各種の実験、観測を行う
- ・宇宙ステーション補給機の開発・運用技術を確立し、日本の責任を果たす。

以上を目標として、今後、年間1機程度の「こうのとりの打ち上げる予定です。

質疑応答 (斎藤誠壽会員)

- Q :人工衛星を利用しての電離層の変化の観測など、地震予知に関する技術の進展は？
- A :現段階では地震予知に関して目立つ成果はありません。発生した際の被害状況の把握、地殻の変動状況データの提供に留まっています。
- Q :人工衛星のマイナス面での利用は？
- A :戦争とかテロなどのマイナス的利用を防ぐために、知りえた全ての情報を公正に公開し合うことが、国際宇宙会議(IAU)に於いて提唱されております。

謝辞 東京狛江RC 会長 加藤 哲夫

閉会点鐘 ガバナー補佐 千葉 孝良



休憩 移動

司会 グループ幹事 田村 重己
開会挨拶 ガバナー補佐 千葉 孝良
乾杯 小粥 定美ガバナー・ノミニ

演奏 アルゼンチンタンゴ
池田みさ子とロス・アミーゴス

ロータリーソング「手に手つないで」
ソングリーダー 沖田 富之

閉会の挨拶 IM 副実行委員長 栗山 正美



【 委員会報告 】

出席報告	出席奨励委員長会
会員総数	34 名
出席義務者数	24 名
出席義務免除者	10 名
出席者数 出席義務者	12 名
出席義務免除者 (事前MU1名)	6 名
計	18 名

出席率 18/30 = 60.00%

第 1034 回例会(10/31)訂正出席率 77.42%
(今週の担当: 遠藤 二郎)